

中小企業金融に関するアンケート調査結果の概要

中小企業金融の実態把握の一環として、平成21年8月から9月上旬にかけて、全国の財務局等を通じて、商工会議所及び経営指導員等を対象に聴き取り調査を実施したところ、その調査結果の概要は以下の通り。

1. 中小企業の業況等に関するアンケート調査（8月実施）

- 各都道府県の商工会議所47先を対象に、会員企業の業況や資金繰りの現状と先行き等について聴き取り調査を実施。

(1) 中小企業の業況感は、厳しい状況が続いている。

要因としては、「売上げの低迷」の割合が最も大きく、次いで、「販売価格の下落」が続く。

(2) 中小企業の資金繰りも、厳しい状況が続いている。

要因としては、「中小企業の営業要因（販売不振、在庫の長期化等）」の割合が最も大きく、次いで、「金融機関の融資態度」が続く。

2. 金融機関の融資動向等に関するアンケート調査（8月～9月上旬実施）

- 各地域の商工会議所の経営指導員等573名を対象に、中小企業への融資姿勢に対する評価、金融庁施策の認知状況等について聴き取り調査を実施。

(1) 中小企業への融資姿勢に対する評価

- ・ 積極的評価の割合が最も大きいのは、政府系金融機関。次いで、協同組織金融機関、地域銀行、主要行の順。
- ・ 消極的評価の割合が最も大きいのは、主要行。次いで、地域銀行、政府系金融機関、協同組織金融機関の順。

(2) 金融庁施策の認知状況

- ・ 「金融検査マニュアル別冊（中小企業融資編）」 97.4%
- ・ 「金融円滑化のための集中検査」 71.5%
- ・ 「貸出条件緩和債権に該当しない場合の取扱いの拡充」 88.3%
- ・ 「金融円滑化ホットライン」 82.9%